

# 静かな山里 住民恐怖

## 洲本5人殺害 「仲間失い悔しい」

山あいの静かな集落で突然、男女5人が次々と殺害される惨劇が起きた。9日朝、洲本市の民家2軒で起きた事件で、殺人未遂容疑で現行犯逮捕されたのは、近くに住む無職平野達彦容疑者(40)だった。近隣の住民は、恐怖と不安におびえて過した。

事件が起きた現場は、住宅が点在する山あいの集落。周辺には田んぼや畑が広がり、普段は静かな田園地帯だが、この日は早朝から、県警の規制線が張り巡らされ、狭い農道は、警察の車両や駆け付けた報道関係者で埋め尽くされ、ものものしい雰囲気包まれた。

亡くなった平野浩之さん(82)のめい(70)は午前9時頃、親類からの連絡を受けて現場に駆け付けた。「状況が何もわからない」と困惑していた。



複数の住民が刺された現場周辺を調べる捜査員ら(9日午前10時45分、洲本市)。■栢田直也撮影

近くに住む70歳代の男性は「争いごととは無縁の地域だ」と思っていたので、ニュースで知って驚いた。顔見知りの住民が相次いで刺されたと思うと、怖くてたまらないと声を震わせた。また、殺さんと知り合いだった別の男性は「殺さん

は孫夫婦と一緒に暮らしために家を増改築中だった。きつと楽しみにしていただろうに、無念を思うと胸が痛む」と話した。

亡くなった平野浩之さん(62)が嘱託職員として勤務していた県洲本土木事務所でも、職員らに衝撃が走った。

石上清・用地1課長は「出勤時間を過ぎてても姿がなく、携帯や自宅の電話もつながらないので、おかしいと思っていた。まさか事件に巻き込まれたなんて」と驚かしていた。



半田理事長(左)から卒業証書を授与される藤井さん(尼崎市で)

## 感謝胸に「頑張ろう」 尼崎の理美容学校で卒業式

尼崎市御園町の「ヘアラルト阪神理容美容専門学校」で9日、卒業式があった。半田まゆみ理事長は、卒業生の多くが阪神大震災の発生前年やその年に生まれたことに触れ、「苦難の中、皆さんを育てられたご両親に感謝し、技術を磨いて下さい」と激励。震災を知らない卒業生たちは、気持ちを新たに学びやを築立った。

式では、藤井春奈さん(20)(神戸市長田区)が「この先、別々の道を進みますが、みんなで頑張ろう」と決意を述べた。

卒業生60人の大半は20歳と若い。藤井さんも震災の年の2月に生まれた。家族は長田区の親戚の家で被災。一時避難した集会所で母親は、カイロを握り締めて寒さをしのいだという。

4月から働く三宮の美容院も震災で被害を受けたといい、「店ではお客さんから震災の話振られることもあるかもしれないが、しっかりと受け止められれば。人とのつながりを大切にしたい」と誓った。

## 宮城の被災地訪問交流

### 宝塚の歌津応援団 5月、参加者募る

昆布などの特産品販売

で、東日本大震災の被災地・宮城県南三陸町歌津地区を支援している宝塚市の市民ボランティアグループ「歌津応援団@たからづか」が5月に現地を訪れる。復興の現状を確認するほか、地元住民との交流を予定。グループは参加者を募集し

ている。

グループは、復興状況などを報じるミニコミ紙の発行が縁で、同地区のボランティア団体と知り合い、支援を開始。宝塚市内のイベントで歌津地区の特産品を販売するほか、相互に訪問し、交流を続けてきた。

今回は5月16日と18日の日程で、同県塩釜市や松島町の海岸を見て回り、南三陸町の仮設商店街を訪問。また、同地区で行われる地域の祭りに参加し、住民と交流する。

代表の亀甲つぎ子さん(67)は「被災地訪問の経験がない人や、次世代を担う若い人に参加してもらい、各自の防災への取り組みなどに生かしてほしい」と話している。費用は1人、4万7000円で定員は先着20人。申し込みは3月末まで。問い合わせ、申し込みは同グループの西尾ひろみさん(090・9884・

## 西宮で高齢求職者講演会

西宮市のNPO法人「コミュニティ事業支援ネット」が運営する「市中高年しごと相談室」は10日、求職活動でハローワークを有効活用するための講演会「ハローワーク徹底解剖」を開

# 阪神

阪神支局  
0798-67-2155  
FAX 67-2156

〒663-8204  
西宮市高松町5-39  
なでしこビル7階

ホームページ  
http://www.yomiuri.co.jp/local/hyogo/

電子メール  
hanshin@yomiuri.com

三田支局  
079-564-6613  
FAX 564-6616

〒669-1529  
三田市中央町4-5  
三田ビル6階

尼崎06-6482-2011  
伊丹072-781-3010  
宝塚0797-74-7077  
川西072-757-9212

伊丹市内の  
販売店へのご用は  
072-777-1305

広告のご用は  
078-391-2906

## 南あわじ市店 オープン

うずしおライン  
「小榎列」交差点  
下る100m

## セレモニーホール なこみ

0120-02-4400

南あわじ店  
南あわじ市榎列小榎列

## 吉田松陰と久坂玄瑞の京を歩く



大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公、杉文の兄である吉田松陰や、最初の夫である久坂玄瑞にスポットを当て、幕末を駆けぬけた長州藩士たちの姿を、霊山歴史館学芸課長の木村武仁氏が、教室と現地の講義で解説します。